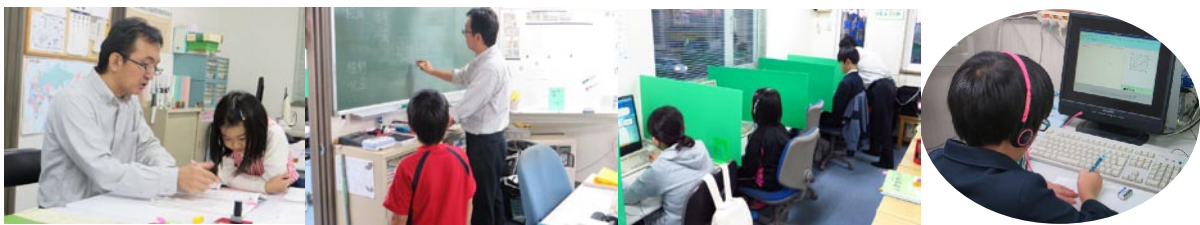




10/23 3年道コン 学力Aの道コンの分析を説明 10/7,11 学力Bテスト対策で3時間授業



終わった人から帰れる3年生の土曜特講、第1回計算特講 10/29 第2回土曜特講 等式の変形&角度特講



日常の学習の様子



湖陵、江南、北陽、武修の目標に向かってがんばる女子生徒、

何だか余裕の江南2年の茉紘と湖陵2年の由佳。余裕なんかないのよね!

受験までもうすぐ。今がやま場の由依ちゃん。



10.8 札幌パークホテルで行われた8期生の石山君の結婚式

6期生の中島君にマンションのワックス掛けを依頼しました 6期生岩瀬君が第2子の楓ちゃんを見せに来ました。

★高校入試まで126日 センター試験まで74日★

あつと言う間に時間が過ぎて今年も残り二ヶ月になりました。年のせいなのか年々時間の過ぎるのが早くなっているように感じます。

10月8日の札幌での卒業生の石山君の結婚式でも話しましたが、彼が塾に来たときは中1で13歳でした。それからもう20年も経って33歳。

野球少年だった(今もやっている)石山君が湖陵高校から医療大に進み言語聴覚士に、本人もそう言っていますが、そのころは想像もつきませんでした。今は札幌の障がい児のための施設の施設長として活躍しています。ちなみに奥さんは作業療法士として系列の病院で仕事をしているそうです。

石山君たちの世代が、いまの生徒と決定的に違う

のは、部活も一生懸命、勉強も一生懸命だったこと。そして過保護、過干渉ではなかったように思いますが。過保護、過干渉がいまの責任感のない子供たちをつくっているように思います。

ステップゼミナールの1期生は、今年40歳になります。卒業生の子供たちが中3から小3まで塾に来ています。

みんなも、あつという間に時が過ぎて、当たり前ですが10年後15歳は25歳、18歳は28歳です。その時、自分がどうなっていたのか。それは全て、いま自分が何に向かってどう行動するかにかかっています。

高校入試まで126日、センター試験まで74日は、取りあえず、いま目の前にある目標です。「本気」で取り組むことが、その後の人生に繋がります。

10年後、20年後の「あの時」は今です。大変な時代を生きていくには、とにかくがんばることです。

北海道高等学校文化連盟 第40回全道高等学校写真展

釧路地区高文連の写真部門で、金賞に選ばれた武修館の3年生河村亜依璃さんの作品「粋な背中」が帯広で行われた全道大会でも佳作に選ばれました。

武修館の写真部は10月30日に行われた、釧路市出身の写真家、長倉洋海さんの写真講座「長倉商店塾」高校生特別講座にも参加してきました。

世界の紛争地や辺境地を取材してきた体験談や沢山の写真を見せてもらったそうです。

私も昨年、釧路美術館で行われた写真展を見に行き、最終日には長倉氏の講演も聞いてきました。すごく良かったですよ!



11月の予定

中3生は学力Cに向けて3日、5日は3時間の対策授業、19日は「関数」26日は「作図&確率」の土曜特講です。終わった人から帰ることがあるので、土曜日が授業でない人は朝からでもいいですよ。

また、各校、各学年、定期テストがあるので12、13日は1000分特講(希望者・有料)です。内申には定期テストの結果が大きく影響します。志望校を目指すには重要な要素です。中3になってから内申点を上げるのは大変です。

特に1、2年生は定期テストに向けてしっかり取り組むことです。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-------------------|----|----|-----------|----|------------------|----|-----------------|----|--------------|---------------|--------------------|--------------|----------------|----|---------------|----|-----------|---|---|---|-----------|---|-------------------|---|---|
| 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 月 | 土 | 日 | 休 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 |
| | | | 休 | ■中3土曜特講④(作図&確率特講) | | | ●勤労感謝の日 休 | | ■鳥取1・2年定期テスト(12) | 休 | ■中3土曜特講③(関数特講I) | | ■美原定期テスト(16) | ■桜が丘定期テスト(18) | ■北・共栄・鳥取西定期テスト(17) | ■富原定期テスト(16) | ■景雲3年定期テスト(15) | 休 | ●1000分特講(希望者) | | ■中3学力Cテスト | | | 休 | ■中3Cテスト対策 | | ■中3Cテスト対策 ●文化の日 休 | | |

11月の予定

在籍する生徒の所属校
小学校 愛国・鳥取西・朝陽 附属 富原
中学校 美原・共栄・景雲・鳥取西 阿寒・桜が丘 附属 北富原
高校 湖陵・江南・北陽・武修館

『脳に悪影響！

4時間以上のスマホ使用で学習効果が消滅すると判明』

今やスマホは生活になくてはならないもの。現在20代の9割、10代の63%がスマホを使用して小学生の間でもLINEがコミュニケーションツールとして使われているそうです。

しかし、今回ご紹介する『やってはいけない脳の習慣』（川島隆太（監修）／横田晋務（著）、青春出版社）によると子どもたちのスマホ使用は成績の低下を招き、脳にも悪影響を与える可能性があることが明らかになりました。

これは子育て中の人は知っておきたいデータです！ さっそく詳細を見ていきましょう。

■スマホの長時間使用で学習効果が半減する

仙台市で7万人の小中学生の学力調査と学習習慣などを聞くアンケートを分析したところ、スマホの使用時間と成績の関係について驚くべき結果が明らかになりました。

この調査では家庭での勉強時間を、30分未満、30分～2時間、2時間以上という3つのグループに分けたうえで、それぞれテストの平均正答数を出し、グラフ化しました。

すると、3つのグループすべてでスマホの使用時間が長くなるにつれ正答率が下がるという結果になりました。

さらに興味深いのは、勉強時間が「2時間以上」でスマホ使用が「4時間以上」の子どもの正答率は55%でしたが、勉強時間が「30分未満」でスマホを「まったく使用しない」という子どもの正答率は60%であったということ。

「2時間以上勉強しても、4時間以上スマホを使う子ども」は、「勉強はほとんどしないけれどスマホをまったく使わない子ども」の成績と同じになってしまうのです。また、この傾向はLINEなどの通信アプリを使った場合にはより顕著になるといいます。

勉強時間に関わらず、スマホや通信アプリの使用時間が長ければ、せっかくの学習効果が消えてしまうことになるのです。

■スマホで脳の一部の働きが低下する可能性も！

長時間勉強している子どもでも学習効果が下がるということは、「スマホのやりすぎで勉強の時間がとれていない」という理屈では説明が付きません。

脳科学的に見ると、これは「前頭葉の活動低下」が引き起こされている可能性が高いそう。

テレビを見たり、ゲームをしたりすると、物事を考えるときに使う脳の前頭前野という部分の働きが低下することがわかっていますが、それと同じことがスマホの使用でも起こっているのではないかということです。

テレビを見たり、ゲームで遊んだりした後30分～1時間くらいは前頭前野が十分に働かず、この状態で本を読んでも理解力が低下してしまうというデータもあるのです。

実際に感じたことのある人もいますが、LINEなどの通信アプリを使っていると勉強に集中することができなくなります。

勉強をしようと思っても頻繁にメッセージが来たり、自分が送ったメッセージに返信があるかどうか気がなったりして集中が妨げられてしまいます。

パソコンでの単純な作業中にLINEの通知音が鳴った場合と、アラーム音が鳴った場合で比較する実験を行ったところ、LINEの通知音が鳴ったときのほうが集中力が途切れやすいという結果が出ました。

アラーム音なら無視することもできますが、LINEの通知音が鳴れば「どんなメッセージがきたのだろうか？」「早く返信しなければ」など色々な考えが頭に浮かんでしまいます。

特に思春期の子どもたちは、友達から仲間はずれにされることに不安を持ちやすいため、本来勉強に使うべき集中力が、LINEの方へ向かってしまいがちです。

さらに恐ろしいことに、パソコンやスマホを長時間使うことによって脳の形が変わってしまう可能性があるといえます。これらの機器の使用習慣の強さと、脳内の「前帯状回」という部分の小ささが関係していることは既に明らかになっています。「前帯状回」は注意の集中や切り替え、衝動の抑制を行う機能に関わる重要な領域。LINEも長時間、習慣的に使用していると脳への悪影響が考えられます。

■子どものスマホ使用は1時間未満を心がけよう

子どものためにできる対策としては、子どもにスマホを持たせない、持たせるこ

とを考えている場合は導入を遅らせることが一番だといえます。

既にスマホを持っている子どももできるだけ使わせない、もし使わせるとしても1時間未満に抑えることが大切です。

調査では、スマホの使用時間が1時間未満と答えたグループが最も成績がよいことがわかりました。

これは単に使用時間が短いというだけでなく、スマホを持っていても、自分自身で使い方をコントロールできるということ。このような自制心や親との関係がよい影響を与えていると考えられます。

ルールを子どもだけにしめて、親が好きなだけスマホを使っていれば子どもは必ず不公平感を抱きます。親の方が積極的にスマホとの健全な付き合い方を示していきましょう。

この分野の研究はまだまだ始まったばかりだといいますが、普段何も気にせず使っているスマホにこんなに大きなリスクが潜んでいるとはショックです。

身近な存在であるスマホとの付き合い方について、一度自分なりのルールを考えてみてはいかがでしょうか。（文／平野鞠） Suzie 9月7日

【参考】※川島隆太・横田晋務（2016）『やってはいけない脳の習慣』青春出版社

全国学力テスト 質問紙調査

主体的学び明確に効果・新聞読むほど高い正答率

全国学力テストの正答率と、新聞を呼んでいるかどうかの関係を調べたところ、「ほぼ毎日」読んでいると応えた児童・生徒の方が、「週に1～3回程度」「月に1～3回程度」読む、あるいは「ほとんど、または、まったく読まない」という児童・生徒より正答率が全ての教科で高い結果となった。

分析によると国語Bの平均正答率は、「ほぼ毎日」の小6が64.8%、中3が73.1%。これに対し、「週1～3回程度」の小6は63.3%、中3は72.5%、「月に1～3回程度」の小6は65.1%と、読む頻度が下がると正答率も低くなり、他教科も同様だった。

文部科学省の担当者は「新聞を読む事は、読解力などを身につける効果があるといえる」としている。

一方、新聞を「読まない」と応えたのは、小6が54.5%（15年度は54.0%）、中3が63.5%（同61.5%）と微増傾向が続いた。 毎日新聞 9月30日

新聞を読むと読解力がつくから国語の学力が高い…文部科学省の担当者。

こんな役人がいるから、日本の文部政策はダメなんですわ。

確かに塾でも新聞を読むこと、ニュースを見ることを勧めますが、そのことが直接学力アップにはなりません。この調査の結果が示しているのは、単純に、総合的に学力が高い子が新聞を読む子（読める子）と言うことでしょう。

大学入試新テスト—受験生・親の不安払拭を

つ・む・ぎNEWS 10.26から

大学入試センター試験に代わる新テストは、現在の中2が高校3年生になる2020年度から始まる。今の中3は現役受験では現行のセンター試験だが、浪人すると新制度の入試に臨むことになり不利にならないかという不安である。

9月に行われた高校入試の模擬試験データを調べると、私大付属校の志望件数が前年より増加した。特に、女子の志望件数は約6千件も増え、前年の約4割増しだ。模試の参加者自体が増え全体の志望件数（志望先として名前が挙がった高校の延べ数）も2割増だったとはいえ、かなりの突出ぶりだ。改革論議だけが先行し具体像が見えないなか、女子の受験生やその保護者に不安が広がり、大学入試がない私大付属への関心が高まっているのだろう。

文部科学省が8月31日に発表した新テストの「検討状況」は、スピーキングとライティングを含む英語の4技能評価のために民間の資格・検定試験の積極的な活用を掲げ、将来は資格・検定試験の活用だけで4技能を評価するとまで踏み込んでいる。

4技能とは「聞く・話す・読む・書く」力のこと。近年はコミュニケーション能力の要となる「話す・書く」力が特に重要視されているが、その評価を民間の外部試験で全て代用する考えらしい。

これでは、4年後に迫った新テストで英語の外部試験をどのような形で取り入れるのか、浪人生への経過措置はどうなるのか、一刻も早く知りたいと思うのは当然だ。

さらに内容によっては、検定合格を最優先に学校の授業を軽視する風潮が広がり、もともと授業時間が少ない公立中・高校の英語の授業は崩壊してしまう恐れがある。